

令和3年度第1回桑名市総合教育会議 議事要旨

日 時・場 所	令和3年4月22日（木）午前10時～ 桑名市立桑部小学校 校長室
出 席 者	桑名市長 教育長 教育委員：4名 事務局：10名
議 事 次 第	1. 桑名市ICT教育の推進状況について 2. 学校の水泳授業とプールのあり方について 3. その他
要 旨	<p>1. 桑名市ICT教育の推進状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットと黒板との使い分けはどのように行うのか。 <p>⇒全てをデジタルにするのではなく、例えば辞典で調べることも大切にしてICTを融合させて授業を行う。</p> <p>2. 学校の水泳授業とプールのあり方について</p> <p>事務局より水泳運動の実施状況と課題及び公営プールの現状と課題、プール・体育館等整備計画について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の水泳は教育的な目的をもって行われており、水泳授業は継続していく必要がある。水泳授業を継続していくうえで、その手法は子どもたちに利点があるという視点が大切。 ・水泳は子どもたちにとって大事であり、生活していくうえで水難を防ぐためにも必要である。ただし、教員にとっては学校プールの維持管理はタイルの剥がれ補修、清掃、水質管理等負担が大きい。 ・プールの建設と学校プールとの連携はどのようなことを想定しているのか。 <p>⇒総合運動公園にプールを建設した場合、どの程度水泳授業を担うことができるのか、また、老朽化した市民プールや長島B&G海洋センタープールを今後どうしていくかも含めて今後シミュレーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校プールは避難場所である学校体育館の付帯設備であり、学校プールの水を使用したり、防火水槽として使用することはないのか。 <p>⇒災害時の備蓄水等は確保されている。また、学校プールは1年間の数か月間しか水が溜められておらず使用できる期間に限られる。現在は消火栓が整備されていることから学校プールの水がなくても消火活動に問題はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑名は過去から水泳を頑張っている地域であり、その想いを残しつつ泳げる子を育てる、また水が好きな子をしっかりと残すため、市内にある老朽化した施設全体をどのようなかたちでどうしていくのか調査を進め、学校プールの将来的なあり方を継続して議論していく。 <p>3. その他</p> <p>事務局より、次回の予定について連絡</p>

(以上)

